

ISO 4768 抗バイオフィルム試験方法

この規格は、抗バイオフィルム加工されたプラスチック製品及びその他の非多孔質表面（繊維製品や光触媒加工製品は除く）における抗バイオフィルム活性を評価する方法について規定したものです。

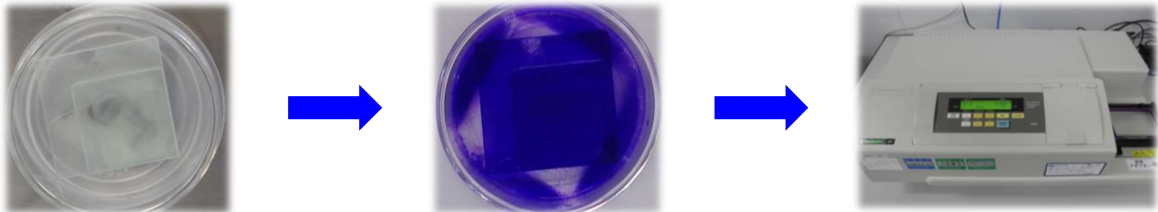
試験概要

- ・ 試験菌：*Staphylococcus epidermidis*（表皮ブドウ球菌）
- ・ 試験菌液：1/5 SCD ブイヨン培地で試験菌液を調製（ 10^3 /mL）
- ・ 試験片：滅菌処理された 3 cm×3 cm の検体（加工品及び無加工品）
- ・ 試験片の設置：4 cm×4 cm のガラス板に試験片を接着し、試験菌液（20mL）に浸漬
- ・ 試験片の培養：35 °C，48 時間静置状態にて培養
- ・ バイオフィルムの染色：試験片を取り出し、水洗，クリスタルバイオレットにて染色，再度水洗を行い，水溶性不織布を用いて試験面上のバイオフィルムを回収
- ・ 吸光度測定：回収後，水溶性不織布を SDS 溶液に溶解し，590 nm の波長で吸光度を測定
- ・ 抗バイオフィルム活性値(R, %)の算出： $R = (1 - W_{\text{treated}}/W_{\text{untreated}}) \times 100$

W_{treated} ：48 時間保存した後の加工品の吸光度の平均値

$W_{\text{untreated}}$ ：48 時間保存した後の無加工品の吸光度の平均値

※試験成立条件：試験片を培養した後の試験菌液中の生菌数が一定数(10^6 /mL 以上)増殖



抗バイオフィルム活性値(R, %)の値が大きいほど，加工品への試験菌によるバイオフィルム付着形成量が無加工品に比べ抑制されたことを示します。

価格（税別）

お問い合わせください。

検体必要量

加工品：3 cm×3 cm（5 mm 以下）の大きさに 10 枚以上

無加工品：3 cm×3 cm（5 mm 以下）の大きさに 10 枚以上

納期（目安）

1～1.5 箇月

依頼状況や長期祝日の影響で変動する場合がございますので，ご依頼のタイミングで改めてご確認ください。